



Ⅱ-1 令和5年度事業計画

令和5年度管理運営の基本方針及び事業について

基本方針

事業運営

- (1) 公園施設等の管理運営事業（貸館事業）
- (2) 利用者サービス事業
- (3) 文化芸術振興事業（文化事業）
- (4) 文化芸術振興事業（文化講座運営事業）
- (5) 文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）
- (6) 「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」
- (7) 「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」
- (8) 健康増進事業（テニスコート・パットゴルフ）
- (9) 公園施設等の管理運営事業（施設管理）

法人運営

組織・運営体制

財政運営



令和5年度宗像ユリックス事業計画

【はじめに】

宗像ユリックスは、昭和 63 年の開館以来、文化・健康・スポーツの交流拠点として多くの方々に親しまれ、令和 5 年度中に開館 35 周年を迎えます。

コロナ禍もようやく治まりつつあり、卯年にあたる令和 5 年度が宗像ユリックスにとって飛躍の年となることを願っているところであります。

さて、宗像ユリックスは「官民連携パートナーシップ構築事業」実施にあたり、宗像市、東邦レオ株式会社との三者連携協定に加え、昨年4月東邦レオ株式会社とパートナーシップ構築事業の基本契約を締結、更に宗像ユリックスの魅力向上と賑わい創出、効率的・効果的な運営を目的に東邦レオ株式会社をアドバイザーとする覚書を取り交わしております。

令和 5 年度は東邦レオ株式会社との基本契約期間 2 年の最終年度であり、第 5 期指定管理者事業計画書に掲げる「入場者数 90 万人」「利用料金収入 120,000 千円」「受講料収入 33,500 千円」という数値目標の達成が求められております。この目標達成のために東邦レオ株式会社、宗像市との連携をより強化し、以下の基本方針に沿って、宗像ユリックスがより多くの方々に愛される施設となるよう職員並びに関係団体、関係事業者一丸となって各種事業に取り組んでまいります。

【基本方針】

◎文化芸術振興事業について

宗像ユリックスは、地域の文化芸術を支援し、より多くの人々に楽しんでいただけるように、多種多様な事業展開、SNSやホームページを積極的に活用した情報発信に努めるとともにワークショップ等を開催し、地域の文化芸術の発展に貢献いたします。

◎公園施設等の管理運営事業について

宗像ユリックスは、これまでも行き届いた清掃や植栽管理で清潔な空間や景観を提供してきましたが、開館後 35 年が経過し、昨年からの施設内部の各種配管の老朽化による故障、不具合が表面化してまいりました。今後は市との連携をより密にしながら利用者に安全な空間を提供し安心して施設を利用していただけるよう施設設備等を管理運営してまいります。

◎健康増進事業について

宗像ユリックスは、健康的なライフスタイルを提供し、健康増進に貢献します。具体的には、ジム機器に頼らないスタジオでの新たな事業プログラムやスイミングスクールを強化するほか、対象を中学生にまで広げたトレーニングプログラム、各種健康講座等における健康情報の提供、また市との健診データ共有によりウェルネス会費の負担軽減を図り会員増を目指します。

令和5年度事業計画

(1) 「公園施設等の管理運営事業(貸館事業)」

【令和5年度の重点的取り組み】

- ・今まで利用頻度が低かった屋外施設の稼働を増やし、利用者増につなげる。
- ・施設の維持管理を徹底し、安心して繰り返し使っていただける施設を目指す。

現在行っている広報活動を継続し、新たな顧客の創造に加え、繰り返しご利用いただけるお客様を増やすことに重点を置き、貸出施設の利用率向上と利用料金収入の増加を図る。

空き施設の有効的な貸出を行ない、利用者数や利用料金の増加を目指す。常に、利用者のニーズを探り、新たな施策立案を行ない、柔軟に対応する。

【利用者数増への取り組み】

集客力のある大型イベントの誘致と、日々の会議や集会などの定期利用者の獲得を目指した広報活動を行う。無料駐車場、Wi-Fi 設備、静かな環境など宗像ユリックスの利点を前面に出した広告を行ない、会議室の新規利用者を獲得していく。

平日の利用者増を目的に、利用者に定着した、「スタジオ当日受付の半額割引」、「舞台上気軽にピアノレッスン」を継続実施に加え、大ホールアリーナのスポーツ利用の開拓を行なう。

館内レストラン、ワゴン販売店舗など、公園内各部署との連携に加え、公園へのキッチンカーの誘致のための条件整備を行ない、利便性向上と収益向上の両立を図り、利用者増を目指す。

【日常的に文化芸術に接する環境の整備】

文化講座や学生の作品を、東側会議室エリア及びイベントホールロビーなど館内の公共エリアに展示し、利用者が日常的に文化芸術に触れることができる環境を整備する。それに加えて、公園内各所にある石像や陶板、壁面絵画などをまとめた「宗像ユリックス・アートマップ」を整備し、1年を通して宗像ユリックスの魅力に触れていただける環境を整備する。

【職員の接客対応スキル向上】

施設に関する知識向上の研修を行なうと同時に、接客スキル向上研修へ積極的に参加する。

【にっこり文化講座事業による施設利用率維持】

にっこり文化講座事業との連携による利用率向上を図る。施設営業部職員全員が、受講生増と利用率向上の意識を持った運営を行なう。

【貸出備品の精査と改善】

「新しい生活様式」に根差したテレワークやイベント配信に対応できる環境の整備を行うと共に、利用者からの要望が多い備品の新たな整備や、劣化した備品の改修により、利用者の利便性向上を図る。

【学習室の運営】

学習意欲の高い学生や社会人のために、公共施設の役割として学習室を継続運営していく。

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数(人)	9,327	5,521	4,755	7,074	8,000
対前年比	107%	59%	86%	117%	143%

【市民ギャラリーの運営】

日頃から文化芸術活動に取り組んでいる方々の作品を発表する場所として、運営する。令和4年度スタートした「宗像アートサロン」との共存を継続し、文化芸術の交流や情報共有と、さらなる文化芸術の鑑賞者とつくり手双方の拡大を目指す。

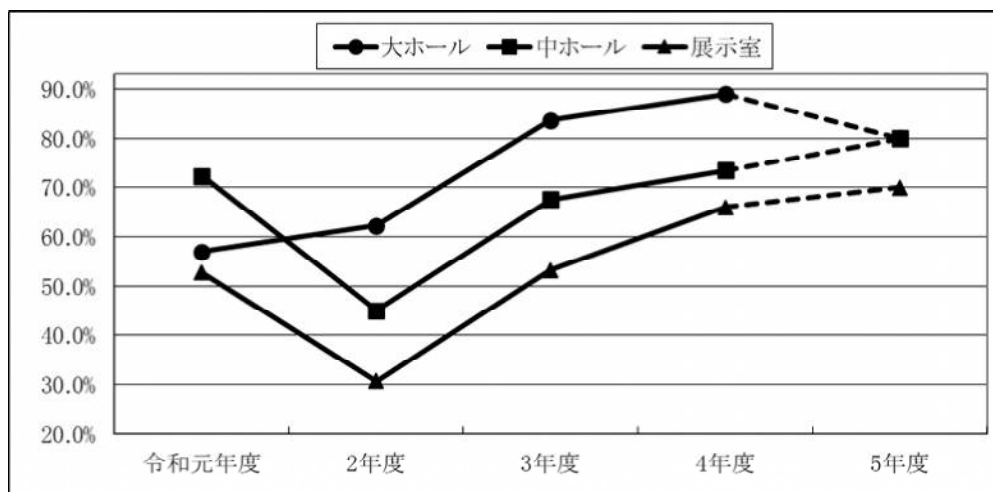
以上の政策により、「利用料金収入」、「施設稼働率」、「利用者数」の3大指標の向上を目指す。

【 数値目標 】

・3大施設利用率の推移

	実績				目標
	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
3大施設利用率	60.7%	46.0%	68.1%	76.2%	76.7%
大ホール	57.0%	62.3%	83.6%	89.0%	80.0%
中ホール	72.3%	45.1%	67.6%	73.5%	80.0%
展示室	52.7%	30.7%	53.2%	66.0%	70.0%

※利用率は、貸出可能日数のうち利用された日数の割合

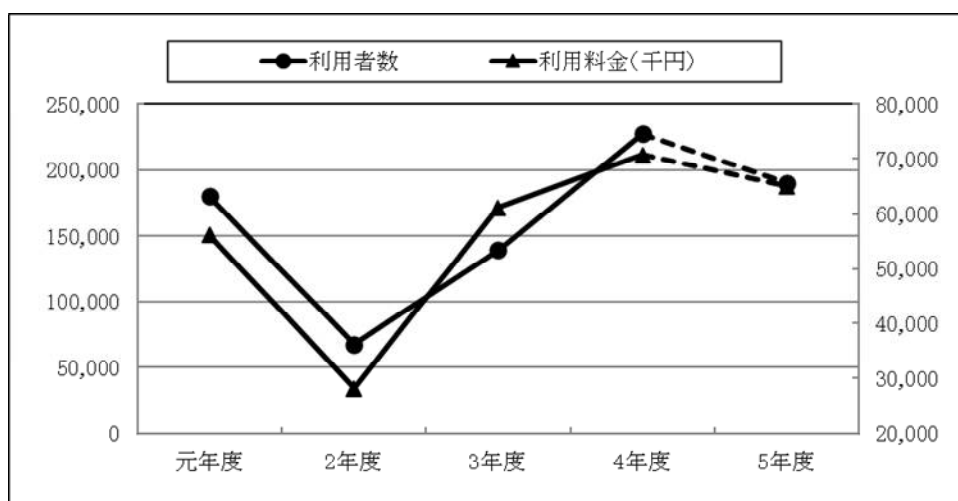


・本館利用者数、利用料金の推移

	実績				目標
	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数(人)	179,906	67,471	139,216	227,069	190,000
対前年比	87.9%	37.5%	206.3%	163.1%	83.6%
利用料金(円)	56,143,295	28,229,830	61,084,420	70,725,120	65,000,000
対前年比	91.9%	50.3%	216.4%	115.8%	91.9%

※利用者数：本館一般施設利用者(プラネ、図書館を除く)

※利用料金：本館一般施設の利用料金収入額(還付金差し引後)



(2)「利用者サービス事業」

【令和5年度の重点的取り組み】

- ・お客様の利便性向上と収益向上の両立を図る。
- ・特に令和5年度は、昨年に引き続き屋外施設利用者に対するサービス向上を重点的に行なう。

・自動販売機設置事業

利用者に飲食物の便宜を供するために公園内の33ヶ所(うち5ヶ所は東京オリンピック2020聖火リレー記念自動販売機)に自動販売機を設置しており、売上額の15～35%を手数料収入としている。来館された多数のお客様にご利用いただいている。

東京オリンピック2020聖火リレー記念自動販売機は、令和3年度をもって撤収する予定であったが、新規設置による利便性が高く、販売手数料も好調であるため、機器の設置を継続することを検討する。

	実績				目標
	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
自販機手数料収入(円)	3,911,380	2,542,833	2,859,607	3,940,719	4,000,000
対前年比	94%	65%	112%	137%	101%

・物品等販売事業

本館インフォメーション窓口において、傘、切手、収入印紙、テニスボールなどの販売事業を行なっている。一定の需要があるため、継続して販売を行う。利用者サービス向上に結び付く新たな販売物があれば、積極的に取り組んでいく。

弁当・花の注文代行サービスを積極的にお勧めし、手数料収入の増加を目指していく。

新たな販売収入事業として、令和4年度にスタートしたキッチンカー誘致について、継続して行ない、屋外利用者への利便性を高める。

	実績				目標
	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
その他手数料収入(円)	2,798,626	795,623	937,855	3,390,659	3,200,000
対前年比	73%	28%	117%	362%	94.3%

(3)「文化芸術振興事業(文化事業)」

【指定文化事業】

(単位:人)

事業名	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
むなかた芸術祭	中止	中止	中止	1,100	1,000
むなかた吹奏楽祭	2,000	中止	461	1,800	1,500
むなかた文化祭	2,540	中止	1,258	2,329	2,500
むなかた子ども芸術祭	730	中止	517	1,000	1,000
アウトリーチ事業	10,568	1847	2,382	5,098	10,000
合計	15,838	1847	4,618	11,327	16,000

【鑑賞型事業及び普及・育成型事業】

(単位:人)

事業名	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ゆりっくす日曜百円寄席	1,064	489	579	952	1,000
古澤巖ソロリサイタル	235	379	418	383	500
九管ポップスファミリーコンサート	693	246	246	439	500
ユリックス吹奏楽団コンサート	700	中止	中止	676	1,000
精華女子高校吹奏楽部コンサート	989	651	620	1,245	1,100
わくわくドキドキオーケストラ体験	550	中止	-	343	500
グッデイコンサート	-	-	252	347	400
KAWAMURA BAND コンサート	-	-	-	-	500
グラスハーブコンサート&ワークショップ	-	-	-	-	200
ザ・レヴ・サクソフォン・クワルテット	-	-	-	-	500
すくすくワンコインコンサート	731	683	1,396	1,431	1,500
劇団飛行船マスクプレイミュージカル	642	中止	-	448	800
ユリックスジュニアプラス卒団コンサート	中止	100	120	140	100
大鉄道展(仮称)	-	-	-	-	2,000
葉っぱ切り絵アーティスト リト展	-	-	-	-	1,000
ユリックス名画シアター	5,218	1,579	2,728	4,168	4,000
ブルガリアカザンラック民族舞踊団(共催)	501	中止	中止	中止	500
福岡県立美術館巡回展(共催)	485	中止	502	583	500
うぐいす寄席(共催)	90	27	53	72	100
歳末ジャンボ落語会(共催)	150	200	212	-	500
NHK 公開録画(共催)	-	-	-	中止	1,500
航空自衛隊西部航空音楽隊演奏会(共催)	-	-	-	-	600
合計	12,048	4,354	7,126	10,168	19,300

【学校の文化芸術教育支援】

(単位:人)

事業名	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
中学校吹奏楽部ワークショップ	567	979	100	190	1,200
ユリックス ジュニアプラス	1,610	1,040	1,010	1,280	1,380
合計	2,177	2,019	1,110	1,470	2,580

【発表の場の提供】

(単位:人)

事業名	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ロビーライブ	241	510	660	935	1,000
合計	241	510	660	935	1,000

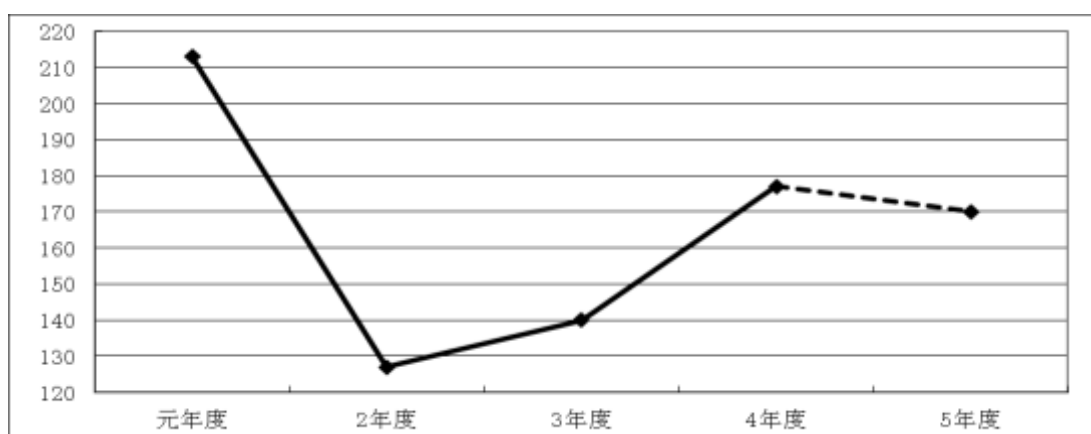
【賑わいづくり事業 目標入場者数 11,000人】

(単位:人)

事業名	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ユリックス館内連携事業 ※うち文化事業	-	-	-	1,908	2,000
アドバイザー連携事業(共催)	-	-	-	71	9,000
合計	-	-	-	1,979	11,000

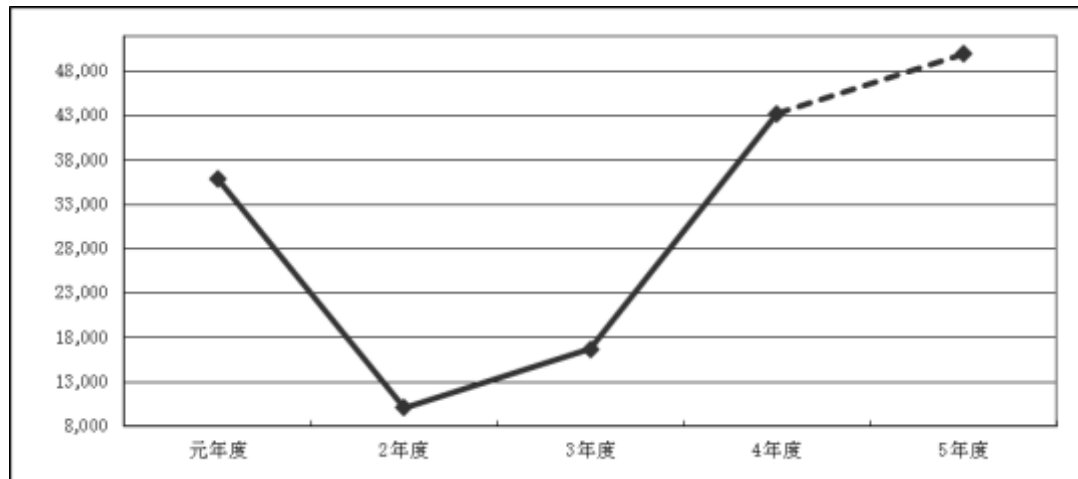
【数値目標】ジャンル別事業本数

ジャンル名	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
音楽(うちクラシック)	20(12)	8(4)	24(8)	18(5)	13(3)
映画	12	8	12	12	13
演劇・古典芸能・舞踊	3	9	13	4	6
美術	1	0	1	3	3
アウトリーチ	76	36	36	82	60
その他(うちワークショップ)	101	66	54	58(1)	75
合計	213	127	140	177	170



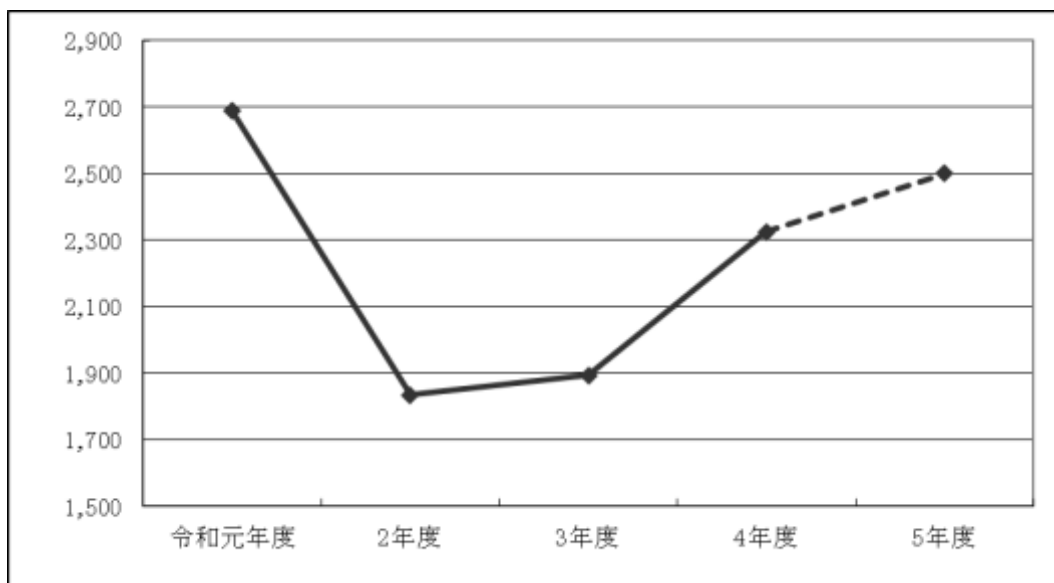
文化事業・入場者数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
入場者数(人)	35,940	10,082	16,683	43,243	50,000
対前年比	70.9%	28.1%	165.5%	259.2%	115.6%
対前年人数	△ 14,773	△ 25,858	6,601	26,560	6,757



ユリックススマイルクラブ会員数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
会員数(人)	2,689	1,833	1,892	2,324	2,500
対前年比	96.4%	68.2%	103.2%	122.8%	107.6%
対前年人数	△102	△856	59	432	176



(4)「文化芸術振興事業(文化講座運営事業)」

【令和5年度の重点的取り組み】

・小学生、高齢者、主婦層という、3つのお客様層のうち、前年度に引き続き、令和5年度も特に小学生に重点を置いた取り組みを行ない、受講者を増やしていく。

新型コロナウイルスによる受講者数の減少を回復させることを目標に、感染症対策を行ないながら、受講生9,600人(月間800人)を目指す。

講座内容は、宗像ユリックスの特徴を活かした音楽、絵画、文学やスポーツの分野を軸に、シニア層に人気の教養を高めるための文学・歴史などの講座や子育て世代へ向けた講座を実施。お客様にとって新しい習慣を提供し、それをコミュニティづくりにつなげる。

【受講者数増への取り組み】

講座内容は、宗像ユリックスの特徴を活かした音楽、絵画、文学やスポーツの分野。

プログラミングに関する講座やオンライン講座など、時流にいち早く応えるべく新しい講座開発を行っていく。

・ 高齢者

仕事をリタイヤした、子育てが一段落した方を対象に平日の昼間に楽しめる講座を展開。学び、作り、発表する楽しみの他、趣味を通してできる新たなコミュニティを作る。

・ 小学生

学校や家庭で学び、体験できないことを、宗像ユリックスで体験できる講座を展開。夏休み、冬休みを中心に、企業や地域の専門家との出会い、新しい体験を通して子どもたちの可能性を広げる。

・ 主婦層

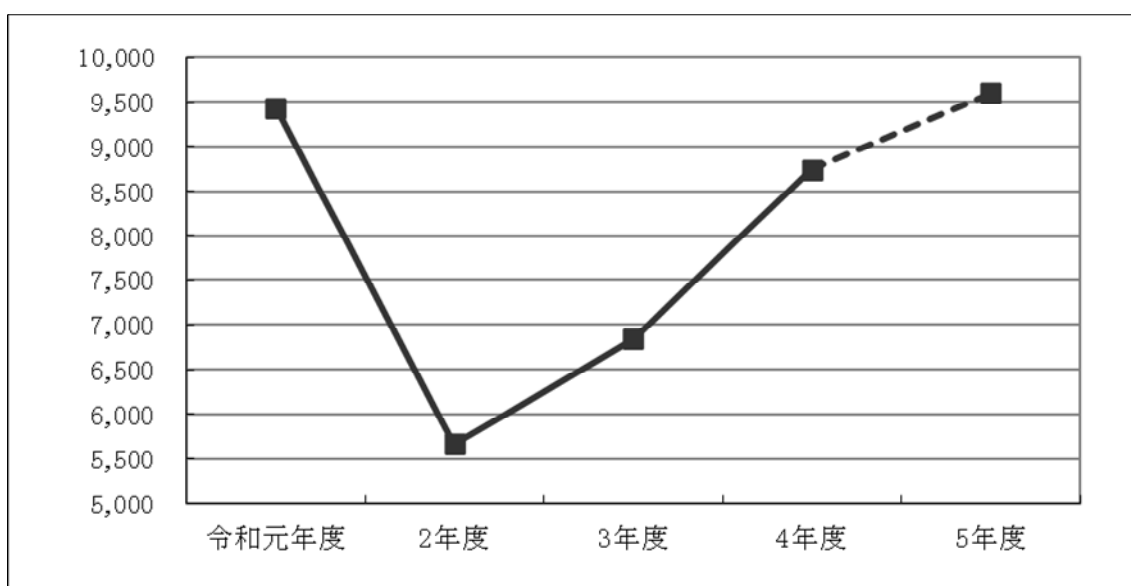
子育て中の主婦の充実した生活を創出する講座を展開。未就園児の託児は無料サービスとし、音楽や絵画などの芸術、テニスやジムなどのスポーツで自分時間を作ることと、同じ境遇にいる友達との新しい出会いの場を提供する。

【数値目標】

文化講座 受講者数の推移

	実績				目標
	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
受講者数(人)	9,440	5,667	6,843	8,745	9,600
対前年比	122.8%	60.0%	120.8%	127.8%	114.3%

※受講者数は、常設講座受講者数と短期講座受講者数の合計



文化講座 講座数および受講料収入の推移

	実績				目標
	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
講座数	1,158	829	958	1,137	1,000
受講料収入(円)	31,939,425	19,089,475	25,205,175	30,856,350	35,000,000

※年間延べ講座数(常設講座数と短期講座数の合計)

(5)「文化芸術振興事業(プラネタリウム運営事業)」

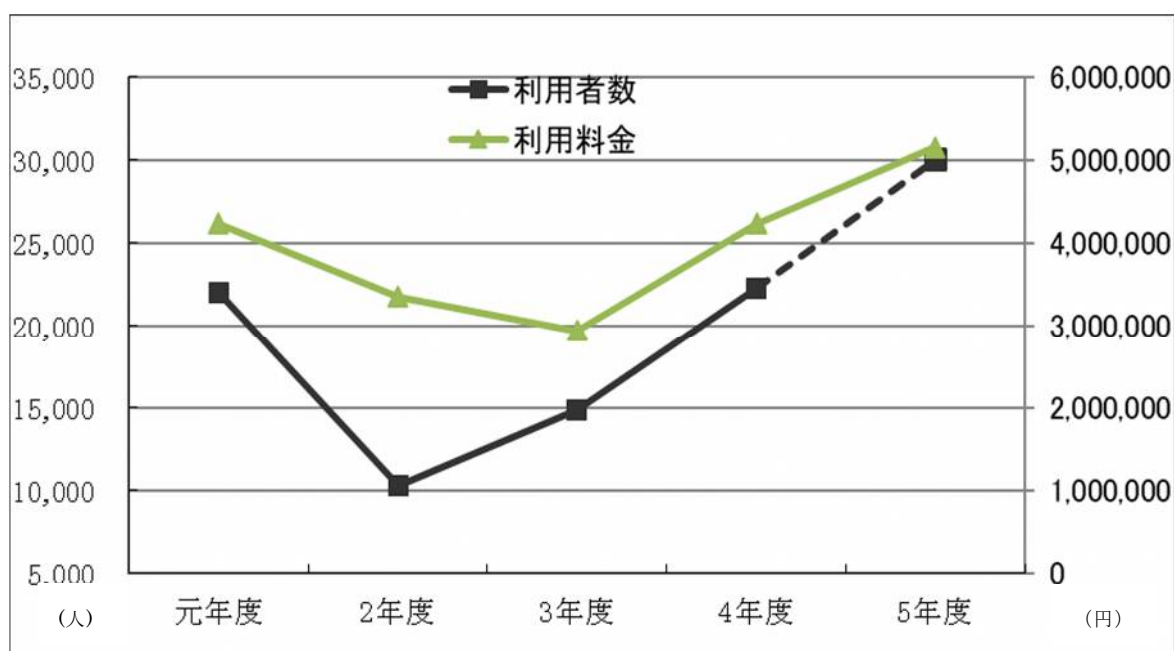
【重点施策】

- ・開館 35 周年企画として映像作品の上映(プロジェクター機器更新)
- ・プラネタリウム 100 周年記念番組の制作
- ・団体利用の回復に向けた営業活動
- ・プラネタリウムコンサートの実施(文化事業部門との協働)
- ・音楽プログラム「スターリーミュージック」による新規顧客開拓
- ・SNS 等、デジタルコンテンツを利用した広報・広告の強化

【数値目標】

・プラネタリウム利用者数・利用料金の推移

	実績				目標
	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
利用者数	22,039	10,384	14,822	22,281	30,000
対前年比	81.3%	47.1%	142.7%	150.3%	134.6%
対前年人数	△ 5,080	△ 11,655	4,438	7,459	7,719
利用料金収入	4,231,940	3,352,460	2,936,950	4,231,350	5,150,000
対前年比	95.6%	79.2%	87.6%	144.1%	121.7%
対前年金額	△ 196,140	△ 879,480	△ 415,510	1,294,400	918,650



(6) 「健康増進事業(健康増進施設管理運営事業)」

【アクアドーム】

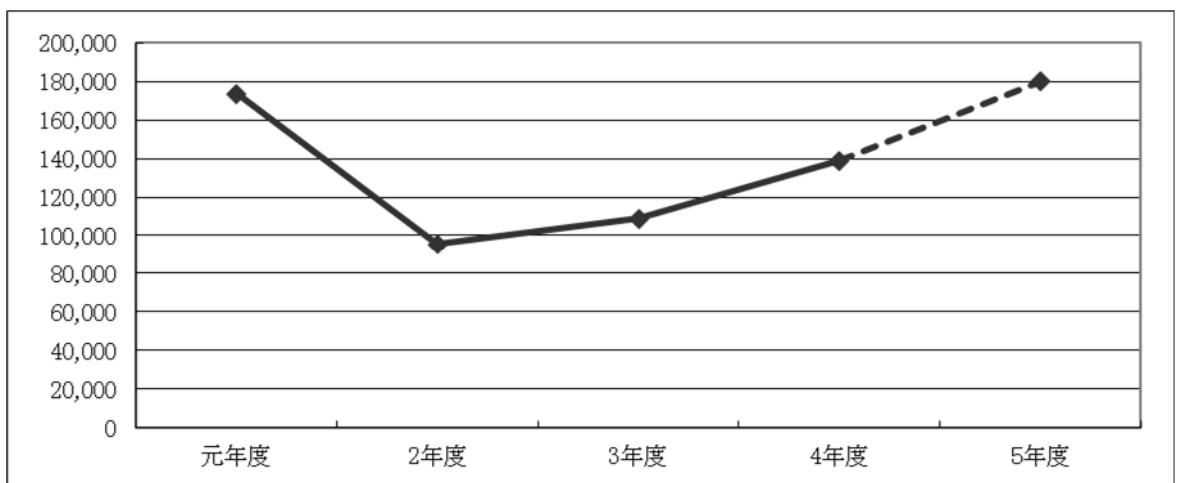
【重点施策】

- ・スタジオレッスン増設による利用者数の増加
- ・スポーツサポートセンター及び宗像市スポーツ協会(特に水泳協会)との連携の強化
- ・ふくおか健康ポイントアプリのポイントを活用した事業展開
- ・キャッシュレス化による利便性向上

【数値目標】

アクアドーム利用者数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数(人)	173,503	96,692	108,948	137,837	180,000
対前年比	90.4%	55.7%	112.7%	126.5%	130.6%



【ゆ〜ゆ〜プール】

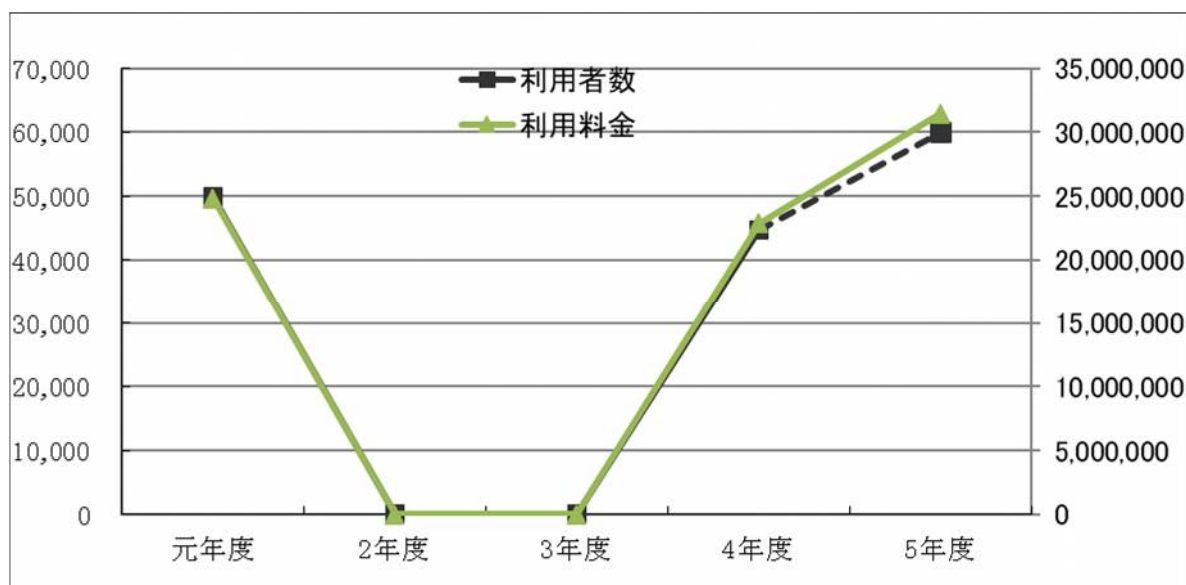
【重点施策】

- ・SNS などデジタルコンテンツを利用した広報強化
- ・キッチンカー等の出店による手数料収入の増加

【数値目標】

ゆ〜ゆ〜プール利用者数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数	50,003	0	0	44,599	60,000
対前年比	80.5%	-	-	-	134.5%
対前年人数	△ 12,088	△ 50,003	0	44,599	15,401
利用料金	24,824,340	0	0	22,855,320	31,441,000
対前年比	95.2%	0.0%	-	-	137.6%
対前年金額	△ 1,254,710	△ 24,824,340	0	22,855,320	8,585,680



(7) 公3「健康増進事業(健康増進企画・体験事業)」

【ウエルネスクラブ】

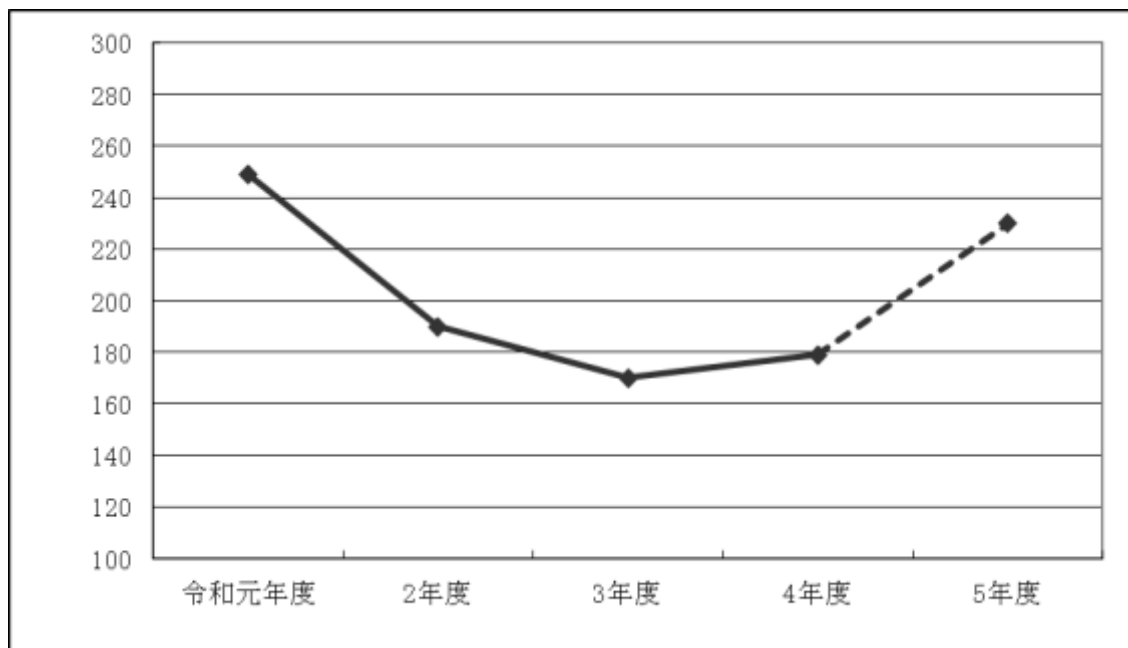
【重点施策】

- ・ナイト会員の利用促進強化
- ・ウエルネスクラブ会員の新たな付加価値として、スタジオレッスンを増設。

【数値目標】

ウエルネスクラブ会員数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
会員数	249	190	170	179	230
対前年比	101.6%	76.3%	89.5%	105.3%	128.5%
対前年人数	4	△ 59	△ 20	9	51



【プール】

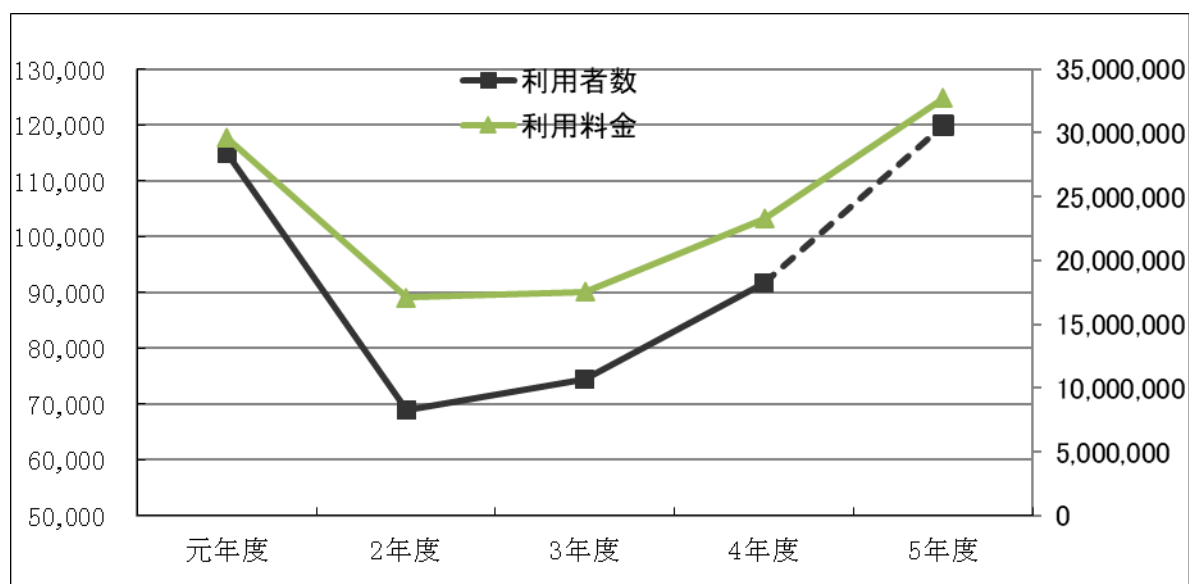
【重点施策】

- ・20時以降の一般利用者増に向けた取り組みの実施。
- ・ふくおか健康アプリの登録促進の実施。ポイントを活用した事業展開を図る。・子育て世代向けに冬場(11月～3月)のプール利用促進イベントを実施。
- ・「トヨタ自動車九州陸上部」をはじめとする競技団体等に、温水プールを活用した「アクティブレスト」を勧める活動を実施。
- ・1回ごとの参加費で参加できる「水中運動教室」、「初級水泳教室」の実施。
- ・知的障がい者を対象とした「ペアペアチャレンジ」の実施。
- ・気軽に参加できる30分のプールレッスン「ちょいプール」の実施。

【数値目標】

温水プール利用者数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数	114,845	68,912	74,439	91,743	120,000
対前年比	91.4%	60.0%	108.0%	123.2%	130.8%
対前年人数	△ 10,789	△ 45,933	5,527	17,304	28,257
利用料金	29,612,473	17,102,840	17,568,480	23,264,221	32,736,000
対前年比	89.7%	57.8%	102.7%	132.4%	140.7%
対前年金額	△ 3,404,117	△ 12,509,633	465,640	5,695,741	9,471,779



【スポーツジム】

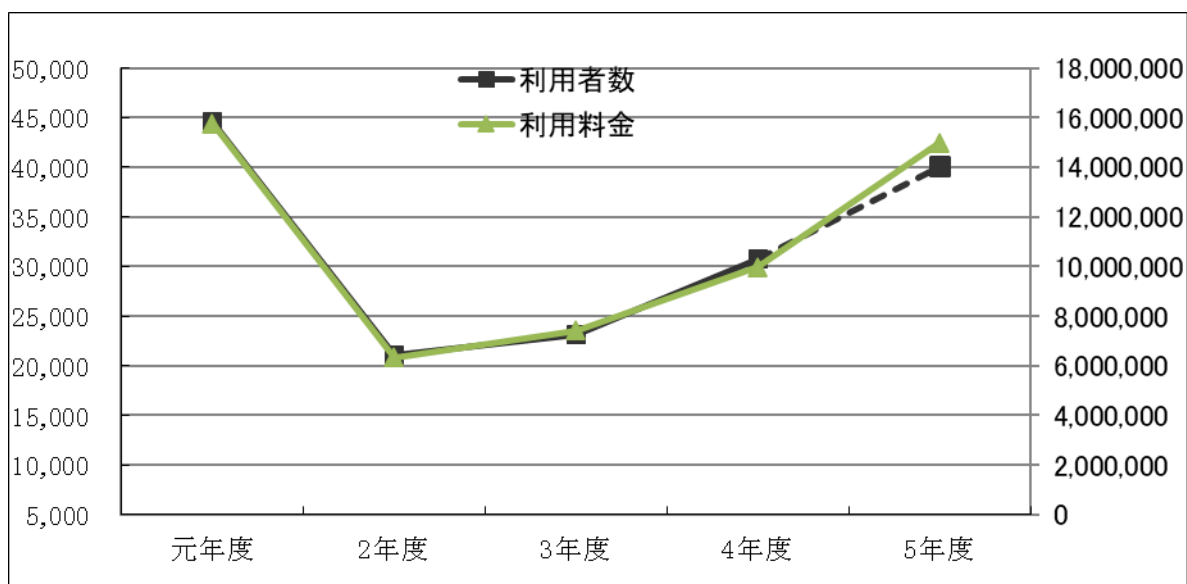
【重点施策】

- ・20時以降の一般利用者増に向けた取り組みの実施。
- ・ふくおか健康アプリの登録促進の実施。ポイントを活用した事業展開を図る。
- ・これまで利用できなかった中学生の利用に向けた取り組みを実施。

【数値目標】

スポーツジム利用者数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数	44,565	21,028	23,123	30,774	40,000
対前年比	96.7%	47.2%	110.0%	133.1%	130.0%
対前年人数	△ 1,502	△ 23,537	2,095	7,651	9,226
利用料金	15,761,200	6,339,900	7,412,820	9,969,309	15,000,000
対前年比	312.5%	40.2%	116.9%	134.5%	150.5%
対前年金額	10,717,930	△ 9,421,300	1,072,920	2,556,489	5,030,691



【スタジオ】

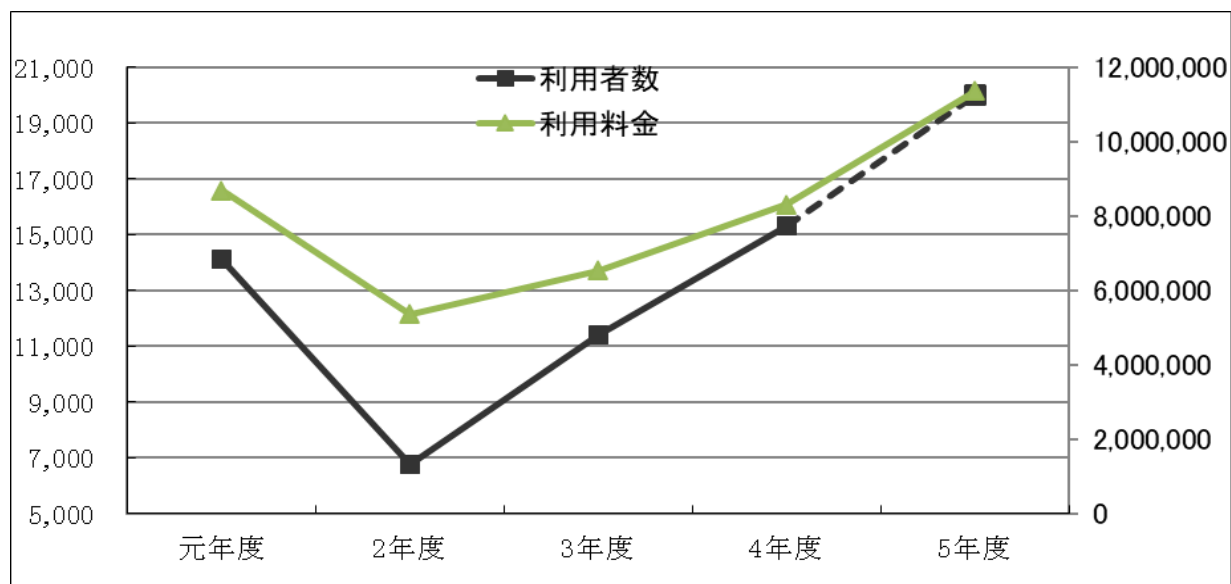
【重点施策】

- ・スタジオレッスン増設による会員増加。
- ・若年層をターゲットとした新たな教室を増設。
- ・気軽に参加できる 30 分のスタジオレッスン「ちよいスタ」の実施。
- ・30～50 歳代向けのレッスンを開催。

【数値目標】

スタジオ利用者数の推移

	実績				目標
	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
利用者数	14,093	6,752	11,386	15,320	20,000
対前年比	69.7%	47.9%	168.6%	134.6%	130.5%
対前年人数	△ 6,131	△ 7,341	4,634	3,934	4,680
利用料金	8,682,815	5,362,830	6,539,430	8,305,950	11,352,000
対前年比	172.2%	61.8%	121.9%	127.0%	136.7%
対前年金額	3,639,545	△ 3,319,985	1,176,600	1,766,520	3,046,050



【その他】

- ・新たな試みとして、障がい者を対象としたクッキングを開催。

(8)「健康増進事業(テニスコート・パットゴルフ)」

【令和5年度の重点的取り組み】

- ・テニス愛好者の利便性向上を目指し、コート予約システムの導入を目指す。
- ・パットゴルフ利用者増を図るため、積極的な営業活動を行なう。

【テニスコート】

幅広い年齢層の健康維持のため、テニスコートの継続的な運営を行なう。新規利用者を取り込むため、販促チラシを作成し、地域のスポーツ店や学校などに販促活動を行なう。

経年劣化によるコートの傷みは、定期的にメンテナンスを行ない、常に安全で気持ちよくプレーできる環境を整えていく。

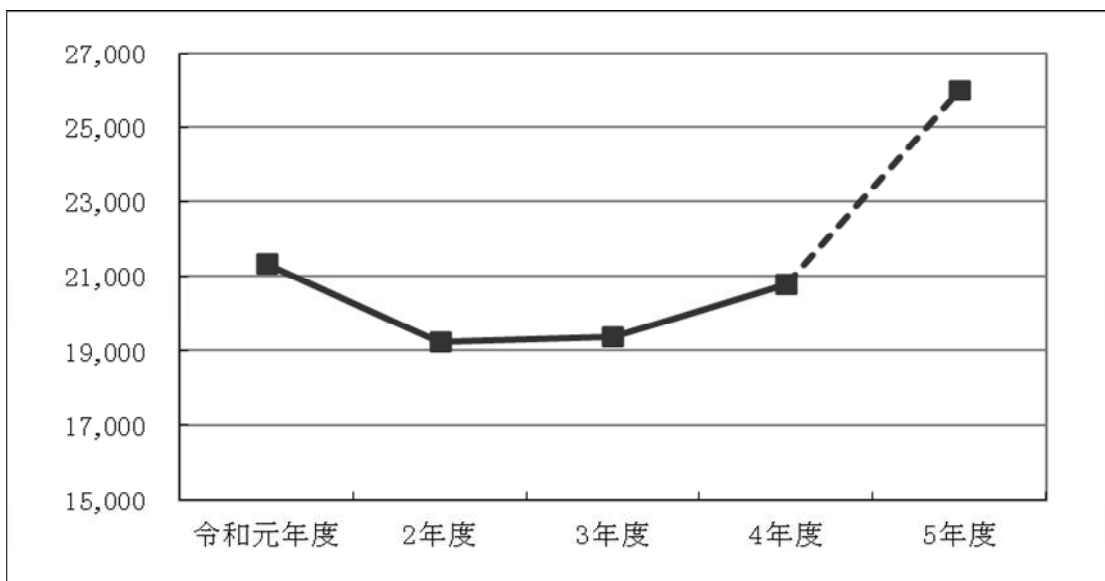
テニス人口の拡大を目的に、テニス愛好者の横のつながりを広げる広報に利用いただくため、クラブハウス内の掲示板の一般利用の条件整備を行なう。

また現在は、空き状況の確認および予約受付を、電話または来館受付のみとしているが、インターネットを利用した空き状況を公開し、お客様の利便性向上を図る。

【数値目標】

テニスコート利用者数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数(人)	21,348	19,252	19,386	20,798	26,000
対前年比	106.4%	90.2%	100.7%	107.3%	125.0%



【パットゴルフ】

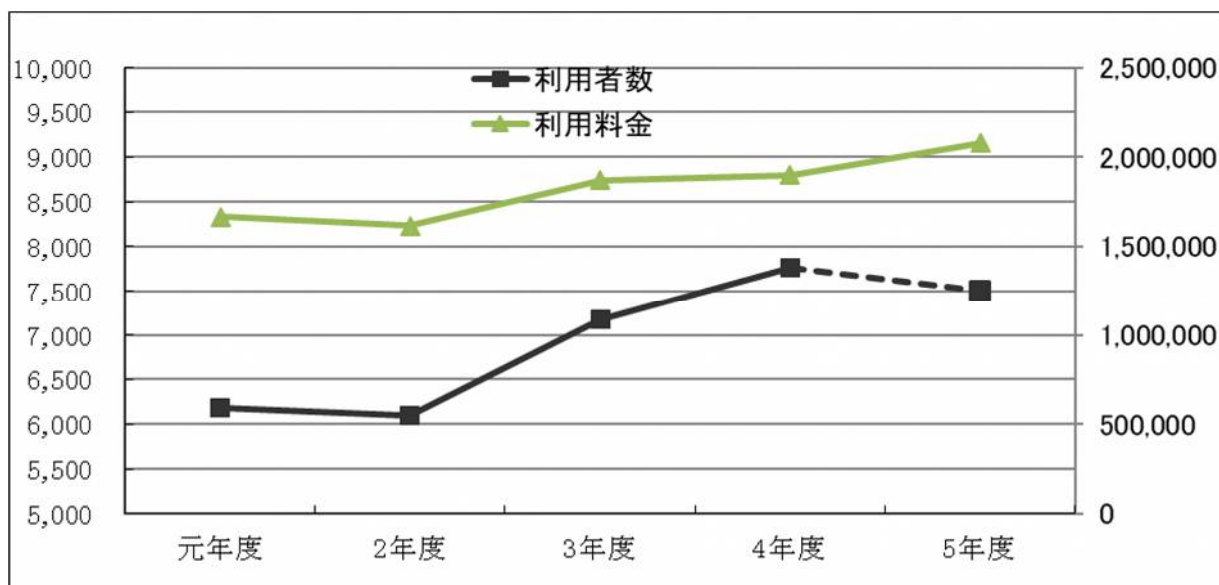
【重点施策】

- ・好評なファミリー層への広報強化。
- ・各地域のコミュニティセンターやシニアクラブ連合会への告知などの広報。
- ・老朽化が目立つ人工芝や案内板の補修による、平日利用シニア層利用者への訴求。

【数値目標】

パットゴルフ利用者数の推移

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
利用者数	6,188	6,096	7,167	7,768	7,500
対前年比	146.1%	98.5%	117.6%	108.4%	96.5%
対前年人数	1,953	△ 92	1,071	601	△ 268
利用料金	1,666,170	1,616,520	1,870,430	1,897,780	2,079,000
対前年比	106.7%	97.0%	115.7%	101.5%	109.5%
対前年金額	104,320	△ 49,650	253,910	27,350	181,220



(9) 「公園施設等の管理運営事業(施設管理)」

【令和5年度の重点的取り組み】

- ・老朽化した各種配管の改修などを適宜行い、故障による臨時休館日ゼロを目指す
- ・東邦レオ株式会社のアドバイスを受けながら中長期を見据えた樹木の伐採をおこない、より心地よい市民の憩いの場所としての総合公園を目指す。

令和5年度は、宗像ユリックスは35周年を迎える。35年の間に大きく成長した樹木がテニスコートの運営や、安全面、景観に支障をきたしており大規模伐採を予定している。

伐採計画に関しては、アドバイザーである東邦レオ株式会社からの中長期的な視点での提案を受けながら実行していく。

施設を安全快適にご利用いただくため、日々の不具合については、迅速に対応し、臨時休館日ゼロを目指す。

南ゾーン芝生広場の芝生再生のためのランニング規制は、環境維持の為、引き続き1月から5月に実施する。

安全管理としては、救急時の対応指導、各設備の法定点検の徹底及び例年実施している防災訓練を継続して実施し、不特定多数の来場者をお迎えする施設に勤務する全職員の意識の維持向上を図っていく。

	実績				目標
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
修繕発生件数(件)	141	128	115	104	—
対前年度比	127.0%	90.7%	89.8%	90.4%	—
修繕費(円)	21,846,584	27,970,933	26,427,059	15,224,687	—
対前年度比	116.4%	128.0%	94.5%	57.6%	—

3 法人運営

【令和5年度の重点的取り組み】

- ・コロナ後の回復基調の推進及び官民連携パートナーシップ構築事業に基づいた
連携の拡充に向けた専門知識の高い人材の育成
- ・健全財政へむけた新たな模索

(1) 「組織・運営体制」

令和5年度は、高度な専門知識を身につけた事業部嘱託職員2名を専任職員に昇格させることで、官民連携パートナーシップ構築事業、および回復基調にあるコロナ後の賑わいづくりの推進をめざす。

令和5年度より、クラウドによる就業管理プラットフォームを導入する。このことで、労務管理の効率化、働き方改革の実現を推進する。

より質の高いサービスを提供することができるようにするために、更なるスキルアップを目的とした職員研修の充実を図り、職員全員の能力を向上させるとともに、組織力の強化、ノウハウの蓄積を図っていく。

ユリックス職員数

(令和5.4.1)

職 種	総務部	事業部	施設営業部	計
中 核	3	2	1	6
専 任	1	3	1	5
嘱 託	3	1	6	10
臨 時	5	4	5	14
計	12	10	13	35

※中核の総務部には事務局長1人を含む

(2) 「財政運営」

各原料費の高騰により、令和5年度は九州電力より大口顧客割引を廃止することに伴う1,800万円の電気代値上げが通知されており、重油などの燃料費も高騰しているため、大幅な支出超過予算になっている。このことから省エネや修繕費のコスト削減につながる助成金、または増収方法を模索していく。

なお、指定管理期間上期(令和4、令和5年度)の指定管理料が下期(令和6、令和7年度)より2,500万円多く割り振られているのは、官民連携パートナーシップ構築事業の契約費1,000万円が上期2ヶ年に発生することによる。

年度	第5期指定管理期間				合計
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
指定管理料	374,828,000円	372,328,000円	362,328,000円	359,828,000円	1,469,312,000円
配布割合	747,156,000円		722,156,000円		上期・下期差額 25,000,000円